



大阪市会議員

2015年10月 第31号

森山よしひさ 後援会NEWS

発行 森山禎久後援会事務局

〒556-0015 大阪市浪速区敷津西2-1-12 YKビルディング1階A号室

☎ 06-6630-8800 FAX 06-6630-9260



財政総務委員会にて質疑を行う森山議員

-未来への責任- 市民が主役の改革を進めます。

過しやすい秋の季節となり、各地区ではイベントが盛りだくさんで、多くの方とお会いできる事を楽しみにしています。

さて、平成27年9月25日開会、平成28年1月15日閉会予定の大阪市会が始まりました。そして、11月22日には市長と知事のW選挙が行われます。住民投票時と同じように、今後の大阪の行方が大きく左右される重要な局面です。皆さんには、しっかりと、この大阪市会に注視していただきたいと思います。

無駄な時間と破壊ばかりに経費をかける大阪市政に終止符を打たなくではありません。

親子方式で暖かい給食を！！



食欲の秋、中学生に暖かい給食をと森山議員が提案をしていた自校調理方式による親子方式が実現に向けて動き出しました。大阪市教委は業者が納入する「デリバリー方式」を採用している中学校について、2020年度までに、周辺の小学校で調理して運び込む「親子方式」や「自校調理方式」にすべて切り替えると発表しました。

大阪市は14年度から、橋下市長の意向で、デリバリー方式による中学校の全員給食を始めました。しかしながら、おかずが冷たいために「おいしくない」と食べ残す生徒が多く、アレルギーへのきめ細やかな対応もできないことが課題となっていました。

大阪市の小学校給食は自校調理方式を採用しており、各校に調理設備があり、これを有効活用することにより多くの中学校での親子方式の移行を軸に検討する事になりました。

まず、本年9月から阿倍野区の市立長池小学校と近くにある市立昭和中学校との親子方式を導入し、来年度以降に他校へ拡大していく方針です。



中学生から相次ぐ不評の民間デリバリー方式の給食。(ごはんと牛乳付き)

冷たい・まずいや多くの課題があり、早い解決が必要です。



柳本顕さんと明日の大坂をつくろうと語り合いました。

前大阪市会議員の柳本顕(やなぎもとあきら)氏。大阪では住民投票の時に一番知名度を上げた市会議員です。25歳の時に初当選で現在41歳。西成の下町の酒屋の息子として生まれ、労働者というものを幼い頃から身近に感じ、育ってきたとうかがいました。

知性・若さ・キャリアを兼ね備えた人物であることは間違いないです。浪速区を引っ張る森山議員と共に真の大阪市の改革を目指しましょうと



区民が主役のイベントが盛りだくさん！

第41回ナニワ区民まつり



浪速区の活性化にいつもご尽力されているボランティアの皆さんには本当に感謝します。御苦労さまでした。



浪速区子ども会連合と太鼓集団「怒塾」のコラボ。区子連関係者ががんばりで今年は180名を越える児童の参加で会場を沸かせました！！

もうすぐ 7 万

長い間、大阪市24区の人口最少を抜けだした浪速区。

現在、浪速区の人口は69,654人（世帯数47,113）の右肩上がりで増加傾向です。区民の力で住み良い街づくりが定着している事が大きな要因です。

子どもの数も増え始め、益々笑顔があふれる安全・安心の浪速区を目指しましょう。

第38回フレンズカップ・オブ・ナニワ

10月11日に行なわれたフレンズカップ・オブナニワの中学生の部へ見学に行きました。

区内の多くの児童・生徒や地域関係者が38年間に渡って交流を計ってきた伝統のある大会です。

当日は早朝の雨に見舞われ心配されましたが、児童・生徒たちは多くの声援の中、真剣な表情で取り組んでいました。

浪速区安全安心まちづくり大会

浪速区安全・安心まちづくり大会

安全  **安心**



安全安心な街づくりを
皆さんと共にと訴える森山議員

10月8日（木）に安全安心まちづくり大会が行なわれました。

今、話題のマイナンバー制度で早くも高齢者をだます特殊詐欺事件があり、注意を呼びかけました。

地域コミュニティが強ければ強いほど、だまされにくく、安全安心のまちづくりの重要性を来場されている方々に訴えました。



日本橋中学校でソフトボールの
熱戦を見守る森山議員

バレーボールの開始直前の1コマ
緊張感が漂います。



編集部より

つながる大阪。未来をきずく。

先の見えない名ばかり改革によって失われた4年間。ガタガタにされ、バラバラにされた大阪市。「対立」からは何も生まれません。「真っ当な大阪市政」を取り戻し、「つながる大阪が未来を築く」姿へと立て直さなければなりません。

せん。「対立」から「強調」へ。「不毛な対立」はもういらないのではないかでしょうか。大切なものは「しくみ」ではなく「なかみ」です。これまでの大阪市が廃止されることを想定する制度論は、大阪市政を停滞させるだけです。

制度ではなく、政策で今こそ大阪市政を真っ当に、そして次なるステージへと踏み出さなくてはなりません。

踏み出すための「変わろう」という「気づき」が新しい



日々の活動を配信中

facebook

確定申告・税務相談等

中企連浪速

☎ 06-6630-7200

11月は児童虐待防止強化月間です。虐待かなと思ったら、お近くの民生委員や子ども相談センター